

2024年4月8日

各位

会社名 株式会社メタプラネット  
代表者名 代表取締役社長 サイモン・グロヴィッチ  
(スタンダードコード: 3350)  
問合せ先 IR 部長 中川 美貴  
電話番号 03-6690-5801

## ビットコインの購入に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、本日別途開示の「第9回新株予約権の譲渡の承認に関するお知らせ」にて調達した資金でビットコインを購入し、当社の資金管理戦略の一環として同通貨で保管すること、及びビットコインの購入総額を10億円までとする旨の決議を行いましたので、下記のとおりお知らせします。今回の譲渡先のような、ビットコインや仮想通貨に精通した戦略的パートナーによる新たな出資に支えられたこの財務戦略の転換は、大胆な金融イノベーションを意味し、日本の資本市場においてユニークなプラットフォームを創出してまいります。

### 記

#### 1. ビットコイン購入の背景

過去数年に及ぶ円安及び長年に渡るマイナス金利政策の影響で、日本円の世界における主軸通貨としての位置付けは弱まっていくばかりであります。一方で、ビットコインやその他の「仮想通貨」と呼ばれる暗号資産は、当初主流であった懐疑的な見方とは裏腹に、その存在感を強め、今では公的通貨として採用する国が現れるほど普及するようになりました。周期的な上下はあるものの、ビットコインの価値は過去10年間で着実に上昇しており、流動性の高い長期主力通貨として日本円に換算してもその価値を維持することが広く期待されています。ビットコインはデジタル通貨の中で最も流動性が高く、広く取引されており、ブロックチェーン技術と分散型取引システムの堅牢性が認められている通貨です。

当社は、本日別途開示のとおり、新株予約権の行使により約935億円の資金を調達することができ、米国を中心としたいくつかの上場企業の動向にもみられるような、今回調達した資金をキャッシュ・マネジメント戦略の一環としてビットコインに投資・保有することで保有通貨を分散し、日本円のエクスポージャーを低めた自己ポジションを構築する予定です。ビットコインはボラティリティが高い通貨との側面がありますが、長期的に見た場合には価値が恒常的に上昇しており、長期保有に適していると考えております。

## ① ビットコインの可能性と戦略的に受け入れることについて

当社がビットコインを自己資産に組み入れることを決定したのは、インフレヘッジ、同通貨がマクロ経済回復から受ける恩恵、そして長期的な資本価値向上の基盤としての可能性を多面的に理解したためであります。この決断の背景には、以下のような要素があります：

- (1) インフレと通貨ヘッジ：前例のない通貨量膨張の時代、そして日本の場合、超低金利政策が永続的に続くと思われる時代において、ビットコインの固定供給は、紙幣の潜在的な価値切り下げとは対照的であり、日本円のような購買力の低下に対するヘッジを提供することができます。
- (2) マクロ経済の不安定性：世界経済の不確実性の中で、ビットコインはどの国の経済政策や景気にも縛られない資産として際立っており、安定性の尺度を提供しています。さらに、政治的に不安定な近況において、ビットコインは政治的意図や地理的不安定に左右されない通貨として、究極のセーフハーバーとして機能します。
- (3) 主要国・金融界での受け入れと成長の可能性：最近米国でビットコイン ETF が承認されたこと、また機関投資家による採用（および累積）の増加は、ビットコインの確立された正当性と長期的な大幅な成長の可能性を強調しています。
- (4) 固定供給とデジタル希少性：ビットコインに定められた 2100 万コインの発行上限供給枠は、無制限に発行できる従来の金銭紙幣とは異なり、需要と供給の原則に基づいて評価される可能性のある資産クラスの導入を意味しています。
- (5) 技術革新の活用：当社が金融テクノロジーの最先端を活用していく中で、ビットコインを採用することは、資金管理の方針にデジタル・イノベーションを活用するというコミットメントを意味します。

## ② 戦略的パートナーシップからの賛同と支援

当社のビットコインへのエクスポージャーシフトは、新たな戦略的投資家の出資によって後押しされ、強化されていきます。暗号通貨の専門家からなる傑出したグループであり、デジタル資産、ブロックチェーン技術など、革新的な金融戦略の領域での経験を当社にもたらしてくれることとなります。暗号通貨市場の複雑さをナビゲートする彼らの集合的な専門知識は、彼らの広範なネットワークとともに、当社のビットコイン戦略を成功に導くのに役立つと確信しております。

## 2. ビットコイン購入及びリスク管理の方針

当社は、ビットコインの購入及びリスク管理について規程を定め、運用してまいります。当該既定の主な項目は以下のとおりです。

- ① 投資責任者と管理者の任命と職務の明確化
- ② 財務諸表を作成するための時価評価
- ③ ビットコインの保管方法と安全性の確保
- ④ 投資・運用方針

### 3. 今後の見通し

ビットコインの保有残高は、四半期ごとに価値を時価評価し、その評価損益を損益計算書の特別項目に計上することになります。四半期業績に著しい影響が発生した場合には、速やかに開示をいたします。

以 上